

第13回自治会館建設委員会議事録

日時 2019年2月8日(金) 場所 つくし野コミュニティセンター第1会議室

出席者 1・2丁目 渋川、橋本、笹尾 2丁目 鶴養、加山、木村、吉村

3丁目 岩淵、代谷、中村、吉室 4丁目 上野、中川

1 はじめに (今回の出席メンバーと開催時間について鶴養委員長から説明)

鈴木さんが委員を辞任するとのことで、1・2丁目の笹尾副会長にご出席いただくことにしたが、笹尾さんの勤務時間との関係で、開始時間を19時40分に変更。

2 第12回委員会以降の経過について(鶴養委員長説明)

1/11 第12回建設委員会

24 建設構想設計チーム会合 (次項参照)

29 町田市市民協働推進課訪問 (市：中坪課長、長谷川係長、吉岡主任、当方：鶴養、上野、友井)

- ・今年度の土地使用貸借契約は締結されなかったため、契約書用紙は破棄する。
- ・7月ぐらいに、各自治会との話し合いの状況を市に報告し、土地使用貸借契約をどうするか決める。
- ・土地の使用形態は、必ずしも防災倉庫でなくても、自治会用途に使うのであれば、多目的広場、自治会のごみの集積場所、捨て看板の置き場などでもよい。利用方法について市も考える。
- ・どんな使い方をするにしても、市と契約を結ぶのであるから4自治会の承認は必要であろう。
- ・すぐに市としてこの土地を処分してしまうというようなことはない。しかし、何年も自治会館の結論が出ないということになれば市としても他の活用がないかということも出てくる。
- ・つくし野センターを自治会に移管するという話が住民説明会であったが、そういう話はあるのかと尋ねたのに対し、協働課は、「他県ではあるが、町田市ではそういう話はない。」と答えた。(建設委員会の議論)
- ・従来は各自治会から5万円ずつ集めて、自治会連合の防災倉庫を設けるということだったが、例えば近所にある2丁目自治会の防災倉庫の一つを移設するのであれば、費用がかからないし、もし自治会館建設の話が流れても、倉庫をもとの場所に戻せばいいだけなのでよいのではないかと。

30 システム検討チーム会合 (次項参照)

「自治会館建設委員会の到達点と今後の取り組み」各自治会にデータで送付 (別紙参照)

3 各チームからの報告 (別紙参照)

(1) 会館設計構想チーム

- ・従来の検討では、平屋、2階建てなど6つの案、費用総額も5,000万~6,500万円が並列的に示されている。事業計画案とするには、もっと絞る必要がある。2階建てにすると坪単価は、基礎工事面積が少なくなるので安くなるが、階段や廊下などの付帯設備が増え、エレベーターなどの設置で費用総額は逆に増えてしまう。
- ・建設面積200㎡を超えると規制が厳しくなるので、それ以下におさめる必要があるし、M平屋設計は約160㎡だから、建蔽率(角地緩和の場合)50%で178.89㎡だから、平屋の場合でもまだ広げる工夫の余地がある。平屋でよいのではないかと。
- ・建設後のランニングコストとの関係があるので、太陽光発電システムは必要。
- ・事業費用総額については、A平屋の約5,000万円に太陽光発電システム200~300万円などを加えて5,500万円としたらどうか。
- ・高齢者や学童保育を終えた小4問題などに対応できる様に、気軽に自由に集えるオープンスペースの確保を希望する意見が強くあった。
- ・ふれあい基金運営委員会から建設委員会へ委員の派遣を要請したらどうか。
- ・仮称・自治会館との名称を「仮称・ふれあい会館」に変更したらどうか。

(2) 会館システム検討チーム - コストの最小化、具体的な利用の方法などについて検討し、基本的な骨格を自治会に示すための議論をした

- ・学童保育の対象にならない4年生以上の子供の放課後の勉強や遊びの場所

具体的には週2~3日の定期利用として10人から15人ぐらいの生徒を集め、2~3時間で一人500